

# 自己と社会をつなぎ未来を拓く系統的なキャリア教育の推進



## 目標をもった進学 社会での自己実現へ

### キャリア教育で育成を目指す力

- ◆自己を理解し管理する力【自己理解・自己管理能力】
- ◆課題を発見・分析し計画的に対応する力【課題対応能力】
- ◆他者を理解し協働する力【人間関係形成・社会形成能力】
- ◆働く意義を理解し将来を設計する力【キャリアプランニング能力】



### 高校生

- 生涯にわたる多様なキャリア形成に必要な能力や態度を身に付ける
- 勤労観・職業観等を自ら形成・確立する

取組例：インターンシップ 職業人講話 ボランティア活動



### 中学生

- 目標を立て計画的に取り組む態度を身に付ける
- 社会における自分の役割や将来の生き方、働き方等を考える

取組例：中学生チャレンジウィーク 職業調べ 社会人講話

### 小学生

- 身のまわりの仕事や環境への関心を高め、夢や希望をもつ
- 社会性、自主性・自律性等を身に付ける

取組例：「うみのこ」体験学習 森林環境学習「やまのこ」  
農業体験学習「たんぼのこ」

### 幼児

- 人とかかわることの楽しさや人の役に立つ喜びを味わう
- 自発的・主体的に活動する

取組例：園や家庭での生活や遊び



学級活動

学校行事

児童会・  
生徒会活動

クラブ活動

各教科での  
学び

家庭・地域社会との連携・協力

「キャリア・パスポート」の活用

## 「キャリア・パスポート」について

平成29年3月に公示された新学習指導要領において、「学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行う」とし、その際に、「児童生徒が活動を記録し、蓄積する教材等を活用すること」と示されました。

そのため、滋賀県教育委員会では「キャリア・パスポート」として、小学校入学から高等学校卒業までの共通様式等を持ち上がり活用する取組を、令和2年度から実施します。授業や学校行事、部活動などでの様々な体験や学びの軌跡を記録し、その記録を「キャリア・パスポート」として積み重ねていくことが、人生を創っていくための「道しるべ」になると考えています。